



Title	大阪大学英米研究 38 目次
Author(s)	
Citation	大阪大学英米研究. 2014, 38
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/99373">https://hdl.handle.net/11094/99373</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 目 次

ご挨拶	杉 本 孝 司	1
杉本孝司教授略歴および主要研究業績		3
杉本先生のご退職にあたって	上 田 功	11
ご退職によせて	奥 藤 里 香	16
「たくさんの授業をありがとうございました」	山 口 清 美	18
vP-raisingについて —Biberauer & Roberts (2005/2006)に対する短評—	加 藤 正 治	21
危機方言保存の試み —方言認識に向けたカリキュラム		
「ノース・カロライナの声」を例にとって	上 田 功	31
文副詞 <i>hopefully</i> の起源と発達について	大 津 智 彦	51
Speaking of which:		
懸垂分詞構文由来の談話標識化について	早瀬 尚子	59
英語の「繰り上げ」構文に対する意味的分析	浅 井 良 策	71
第一次大戦下の補欠選挙1915-1918 —総力戦の衝撃—	岡 田 新	87
テネシー・ウィリアムズ、 亡靈のドラマトウルギー <sup>1</sup> —記憶、時間、エクリチュール	貴 志 雅 之	125
Spectral Response to the Declaration of Independence: Deferment of the Death of America in <i>Arc d'X</i>	Yuki Uchida	145
日本英語検定協会からの受託研究について		163
大阪大学英米学会会則		165